

## ▼オンボー点滴静注・▼皮下注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ミリキズマブ（遺伝子組換え） Mirikizumab（Genetical Recombination） 【分類】 ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤

【単位】

【常用量】 1回300mgを4週間隔で3回（初回，4週，8週）点滴静注

12週時に効果不十分な場合はさらに1回300mgを4週間隔で3回（12週，16週，20週）投与可

皮下投与用製剤による維持療法中に効果が減弱した場合には，1回300mgを4週間隔で3回点滴静注可

■皮下注

点滴静注製剤による導入療法終了4週間後から1回200mgを4週間隔で皮下投与

【用法】 点滴静注，維持療法では皮下注

【透析患者への投与方法】

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】 中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法（ステロイド，アザチオプリン等の既存治療で効果不十分な場合に限り）に適用されるバイオ製剤。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【E】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】 20240229

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。